

令和 4 年度

事業報告書

社会福祉法人

東御市社会福祉協議会

令和4年度 社会福祉法人東御市社会福祉協議会事業報告

東御市社会福祉協議会では、第4期地域福祉活動計画で示した「人とひとが福祉でつながるまちづくり」～住民一人ひとりが尊重され、誰もが幸せを感じられる地域へ～の基本理念のもと、誰も排除しない地域共生社会の実現に向けた地域福祉事業を推進しました。

長期化するコロナ禍において、様々な社会活動が停滞し、地域社会においても減収や失業による生活困窮等の課題が顕在化するとともに、人と人とのつながりが希薄化し、地域住民の孤立が懸念されています。

東御市社会福祉協議会では、従来の対面方式とオンラインを活用するハイブリッドな法人運営に取り組み、ホームページやフェイスブック等を活用した福祉情報の発信や啓発に努め、コロナ禍におけるコミュニティづくりに取り組みました。また、多様な生活課題を抱える住民の社会的孤立を防ぎ、誰もが社会参加できる地域づくりを進めるため、生活就労支援センター「まいさぼ東御」を中心に、総合相談体制の強化を図り、生活福祉資金の貸付事業や自立支援に係る相談支援事業、食料支援事業などに取り組みました。

また、地域住民や関係機関と連携・協働し、行政とパートナーシップを図りながら「人とひとが福祉でつながるまちづくり」を進めるため、地域のつながりを深める福祉活動に取り組みました。

令和4年4月から令和5年3月までの主な事業は、次のとおりです。

I. 組織運営の強化・人材育成

1. 法人組織の運営・体制の強化

(1) 理事会（3回）

回数・開催日	人数	上 程 議 案
第88回 4.6.8（水）	13人	・令和4年度一般会計補正予算（第1号） ・令和3年度事業報告及び一般会計決算 ・定款の一部を改正する定款 ・組織規程の一部を改正する規程 ・指定訪問介護事業所運営規程を廃止する規程 ・指定障害サービス事業所運営規程を廃止する規程 ・評議員候補者の推薦について ・評議員会の開催について
第89回 4.12.5（月）	13人	・令和4年度上期事業の概要及び一般会計中間決算の状況について ・令和4年度一般会計補正予算（第2号） ・生活福祉資金調査委員会規程を廃止する規程 ・評議員会の開催について ・令和5年度事業計画について
第90回 5.3.13（月）	12人	・令和4年度一般会計補正予算（第3号） ・令和5年度事業計画及び一般会計予算 ・評議員候補者の推薦について ・評議員会の開催について

(2) 評議員会 (4回)

回数・開催日	人数	上 程 議 案
第56回 4.6.22 (水)	16人	・令和4年度一般会計補正予算(第1号) ・令和3年度事業報告及び一般会計決算 ・定款の一部を改正する定款
第57回 4.12.23 (金)	21人	・令和4年度一般会計補正予算(第2号)
第58回 5.2.24 (金)	21人	・理事の選任について
第59回 5.3.27 (月)	16人	・令和4年度一般会計補正予算(第3号) ・令和5年度事業計画及び一般会計予算

(3) 監 査

○税理士による会計指導

決算 令和4年5月13日(金) 中間 令和4年11月4日(金)

○監事による監査

決算監査 令和4年5月25日(水) 中間監査 令和4年11月28日(月)

(4) 支部長会

- ・期 日 令和4年7月13日(水)
- ・場 所 中央公民館3階 講堂
- ・参加者 53人
- ・内 容 ① 令和4年度 社会福祉協議会の会費募集について
② 令和4年度 赤い羽根共同募金の取り組みについて

(5) 法人内の連携

- ・各種プロジェクト(広報・福利厚生)の設置・推進
- ・グループウェアの導入で、情報共有を図る

2. 自主財源の確保

(1) 社会福祉協議会への寄付

ア. 金銭の寄付

個人 10人	6団体	総額 770,941円
--------	-----	-------------

イ. ウェス

個人 4人	1団体	合計 19件
-------	-----	--------

ウ. 物品の寄付

個人 25人	8団体	合計 33件
--------	-----	--------

介護用品	一般物品		
ポータブルトイレ 4台	肌着類	衣類	不織マスク
シャワーチェア 2台	靴下	雑巾	ガーゼマスク

車椅子 2 台	タオル	エプロン	シーツ
オムツ	バスタオル	毛布	生理用品
尿取りバット	冷蔵庫	ティッシュ	トイレトペーパー
おしり拭き	ボードゲーム	折り紙	色画用紙
ビニール手袋	手芸材料	遊び道具	湯たんぽ

(2) 社協会員の加入状況と会費の収納

年度	会員区分	一般会員	賛助会員	法人会員	合 計
令和 4 年 実績	人 数	6,076 人	665 人	164 法人	
	金 額	6,072,000 円	1,332,000 円	1,525,000 円	8,929,000 円
令和 3 年 実績	人 数	6,062 人	704 人	161 法人	
	金 額	6,061,500 円	1,410,000 円	1,510,000 円	8,981,500 円

3. 研修事業・人材育成

(1) 役員研修

① 社会福祉トップセミナー

・期 日 令和 4 年 8 月 2 日 (火)

・場 所 総合福祉センター (オンライン研修) 7 人出席

・基調説明

「包括的支援体制の構築に向けた重層的支援体制整備事業の展開」

氷見市社会福祉協議会事務局次長 森脇 俊二 氏

・実践報告

「県内の重層的支援体制整備事業の取り組みについて」

伊那市社会福祉協議会地域福祉課長 矢澤 秀樹 氏

飯綱町保健福祉課福祉係相談支援包括化推進員 板木 攝 氏

<パネルディスカッション>

「重層的支援体制整備事業を私たちの地域で取り組むために」

○パネラー 森脇 俊二氏 矢澤 秀樹氏 板木 攝氏

○進行 長野県社会福祉協議会

② 社協役職員視察研修

・期 日 令和 4 年 11 月 7 日 (月)、8 日 (火)

・場 所 富山県氷見市 14 人出席

・内 容

(1) ふくし相談サポートセンター (氷見市役所内) 見学

(2) 社会福祉法人氷見市社会福祉協議会研修

ア) 法人の概要説明

イ) 氷見市の地域福祉活動の歴史について

ウ) 相談支援事業の歴史と重層的支援体制整備事業の取り組みについて

③ 信州ふっころフェスティバル（オンライン併催）

「第71回長野県社会福祉大会」「介護の日県民のつどい」併催

- ・期 日 令和4年11月12日（土）
- ・場 所 須坂市文化会館メセナホール
- ・内 容 ○地域共生シンポジウム

「人口減少社会に持続可能な地域づくりを考える」

【シンポジスト】

一般社団法人 ソーシャルファームなかがわ 事務局長 玉木 信博 氏

合同会社風の谷の大鹿 社員／長野県職員 北澤 淳 氏

【コメンテーター】

持続可能な地域社会 総合研究所 所長 藤山 浩 氏

【ゲスト】 長野県知事 阿部 守一 氏

【司 会】 上条 百里奈 氏

○スペシャルライブ

【ギターリスト】 Showji（長野市在住）

○介護の日スペシャルトーク 「介護の魅力を語ろう、伝えよう！」

（2）職員研修

① 外部研修

安全運転管理者研修会、日常生活自立支援事業推進会議、福祉教育実践研修、生活福祉資金担当者会議、権利擁護推進セミナー、地域づくり推進研修、信州パーソナル・サポート事業支援員研修会（県実施）【性の多様性について】、【主任相談支援員養成研修】、【オンライン取引最近の相談事例】、【長野県&千葉県 生活困窮者自立支援実務者ミーティング】【相談支援員養成研修】生活困窮者自立支援制度人材養成研修（国実施）、第8回生活困窮者自立支援全国研究交流大会、上小地域医療・介護連携推進研究会、災害ボランティアセンター運営支援者研修会、ボッチャ競技C級審判員養成講習会、男女共同参画の視点による災害対応研修、ひきこもり支援フォーラム、第1～3回ひきこもり支援実践研究会、地域共生推進セミナー、生活困窮者支援推進セミナー・長野、苦情対応システム研修会、子どもの学習・生活支援事業推進会議、シンポジウム しごと・就労支援を切り口にした地域づくり、これからの社会福祉協議会の役割と実践を考えるワークショップ

② 上小ブロック役職員研修

- ・期 日 令和4年9月27日（火）
- ・場 所 上田市長瀬市民センター 大ホール
- ・内 容 講演会「木曾義仲と丸子・小県」
施設見学「シャトー・メルシャン 梔子ワイナリー」

③ 内部研修

- ・期 日 令和4年11月17日（木）
- ・場 所 総合福祉センター3階 研修室
- ・内 容 重層的支援体制整備事業について

(3) 実習生の受入

社会福祉士資格取得のためのソーシャルワーク実習

長野大学 3 年 3 人 (夏季 令和 4 年 8 月 20 日～9 月 27 日)

長野大学 2 年 5 人 (春季 令和 5 年 2 月 15 日～2 月 27 日)

佐久大学 2 年 1 人 (春季 令和 5 年 2 月 15 日～2 月 27 日)

(4) 職員の講師・委員等の派遣

○生活困窮自立支援制度に係わる研修企画チーム構成員 (令和 4 年 4 月～5 年 3 月) 1 人

・オンライン会議、研修講師、研修ファシリテーター等 全 5 回

○上小圏域成年後見支援センター運営委員・小委員会委員 1 人

・運営委員会 2 回 ・小委員会 8 回

○長野県社会福祉審議会 地域福祉計画専門分科会委員 1 人 全 3 回

○【国研修】就労支援員・就労準備支援事業従事者養成研修 1 人

・表 題 実践報告「多機関・庁内連携で進める就労支援～コロナ禍を通じた新たな
相談者への対応に向けて～」(オンデマンド配信)

・撮影日 令和 4 年 7 月 22 日

・対象者 全国の自立相談支援事業の就労支援員、就労準備支援事業支援員 475 人

○仕事・就労を切り口にした地域づくりに必要な情報や課題整理のためのセミナー

地域づくり担当者セミナー 1 人

・表 題 まいさば東御「多様な地域連携による就労支援」の報告

・期 日 令和 4 年 7 月 13 日・9 月 21 日

・対象者 全国の生活困窮者自立相談支援機関・就労支援事業所等 延べ 70 人

○令和 4 年度長野大学相談援助実習指導Ⅰ講義 1 人

・期 日 令和 4 年 10 月 18 日 (火)

・対象者 長野大学生 20 人

○令和 4 年度「福祉の仕事」社会福祉の現場-貧困・低所得者の福祉- 1 人

・表 題 「生活困窮者自立支援事業の現場から」

・期 日 令和 4 年 11 月 11 日 (金)

・対象者 長野大学生 1 年生 約 170 人

○地域猫セミナー「地域猫活動と多頭飼育崩壊」

・表 題 「人と動物の暮らしを考える」

・期 日 令和 4 年 11 月 13 日 (日)

・対象者 東御市民・テーマに関心のある者 90 人

○生活困窮者自立支援制度 関東・甲信越ブロック研修 1 人

・表 題 「多様な地域資源とのパートナーシップをどう作るか」

・期 日 令和 4 年 12 月 16 日 (金)

・対象者 関東・甲信越ブロックの生活困窮者自立支援事業に携わる相談員 約 137 人

○「長野県パーソナル・サポート事業 主任相談支援員研修」 1 人

・表 題 「個の支援から連携・協働へ～自立相談支援機関のソーシャルワーク」

・期 日 令和 5 年 1 月 24 日 (火)

・対象者 主任相談支援員 約 16 人

- 「多頭飼育問題を考える研究研修会」 1人
 - ・表題 「多頭飼育問題の現状を知り、飼い主の背景について考える～多頭飼育とソーシャルワーカー」
 - ・期日 令和5年2月22日(水)
 - ・対象者 多頭飼育問題に関心のある福祉および動物の機関 約80人
- 「令和4年度社会福祉協議会活動全国会議 ライブ配信
～法制化40周年を迎えた市町村社協がいかに生活困窮者支援に取り組むか～」 1人
 - ・表題 『「まいさぼ東御」と長野県の実践から』
 - ・期日 令和5年3月16日(木)
 - ・対象者 全国の市町村社協職員 約202人

(5) 視察受入

- 新潟市パーソナル・サポート・センター 4人
 - ・表題 まいさぼ東御(自立相談支援事業について)
 - ・期日 令和4年5月27日
- 小諸市・小諸市社協 8人
 - ・表題 まいさぼ東御(子どもの学習・生活支援事業について)
 - ・期日 令和4年6月1日

4. 苦情対応

- (1) 苦情受付状況 苦情受付件数 0件
苦情対応システム研修会(オンライン開催)
令和4年11月14日 職員3名、第三者委員1名出席

5. 連絡調整事業

- (1) 民生児童委員協議会との協働
 - 地域福祉事業の周知・啓発・事業に関する協力
 - 福祉活動に対する助成金の交付
 - ・福祉委員(民生児童委員)活動費 81名 405,000円
 - ・生活福祉資金実費弁償 75名 225,000円
 - 理事会・地区民協定例会・全体会への出席
- (2) 社協法人会員の皆様へ社協事業に対する情報提供
 - 社協広報紙の送付

Ⅱ 総合相談、支援事業の推進

1. 生活困窮者自立支援事業

(1) 自立相談支援事業

東御市生活就労支援センター「まいさぼ東御」は、生活困窮者自立支援法に基づき、生活に困窮している、今後その恐れのある方の総合的な相談窓口を東御市から受託し運営しました。10代の若者から高齢者まで幅広い年齢層の生活課題を受け止め、「家計改善支援事業」・「就労準備支援事業」・「子どもの学習・生活支援事業」の任意事業と、独自事業である「居場所づくり」・「仕事・生活サポーター」・「食料支援事業」などを活用しながら、生活の自立や課題の改善や解決に取り組みました。また、事業開始当初から「繋がりに続けている相談者」のなかには、解決に向けて具体的な支援を実施した事例もあり、解決のタイミングに寄り添うことが出来ました。多様な生活課題解決に向け、行政のあらゆる部署と事業者や市民をネットワーク化して、官民協働の地域づくりに取り組みました。

<相談件数> *相談員：5人

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年
新規相談件数	84件	71件	179件	110件	78件
継続支援件数	延639件	延807件	延1,264件	延2,003件	延2,126件
プラン作成件数	49件	59件	40件	36件	40件
相談対応件数	延3,202回	延5,044回	延7,284回	延7,348回	延5,984回

<新規相談件数の年齢構成>

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
4	11	12	15	9	11	16	0	78

<法に基づく制度の利用>

制度を利用した実件数（複数の制度利用あり）

制 度	件 数	左記の件数のうち 自立プラン作成の件数
住居確保給付金	12	7
家計改善支援事業	30	8
就労準備支援事業	16	9
認定就労訓練事業	0	0
自立相談支援事業による就労支援	24	24
生活保護受給者等就労自立促進事業	8	8

<プラン作成者の状況>

状 況	件 数	状 況	件 数
家族関係・家族の問題	11	本人の能力の課題	5
経済的困窮	8	ひとり親	5
病気	7	コミュニケーションが苦手	5
社会的孤立	7	子育て	4
その他メンタルヘルスの問題	6	障害（手帳有）	4

<生活・就労支援に関する実績>

○就労者数

就労者数	製造	農業	小売	医療・福祉	清掃	運輸	その他
24	7	3	3	1	2	1	7

○プチバイト（就職活動応援金付職場体験事業）

体験者数	農業	製造	サービス
0 人	0	0	0

○就労支援プロジェクト（旧緊急就労支援事業）

令和 4 年 10 月から長野県社会福祉協議会が運営する「長野県あんしん未来創造センター」が主体となり、就労支援プロジェクトが創設されました。事業内容は、生活困窮者自立支援法における自立相談支援機関の相談者を対象に体験研修型（1 か月 60 時間以内、1 時間 800 円を対象者に支給）、直接雇用型（2 か月間の給料 2/3 を事業所に助成）の 2 つの型があります。本事業を活用し就労体験や、雇用促進を支援しました。

利用者数	体験研修型	直接雇用型
5 人	5	4

利用者数	農業	製造
5 人	3	2

○身元保証・就労支援事業

利用者数：0 件、契約締結事業所：0 件

○入居保証・生活支援事業

利用者数：8 件、契約締結家主：2 件

○生活改善支援事業

地域住民との協働活動支援事業：0 件

（2）家計改善支援事業

相談者が単身又は母子世帯や障がい・高齢者世帯等で低収入、コロナによる離職、体調不良による離職、多額の債務、税金や家賃の滞納等、複合的な課題を抱える世帯の相談に対応しました。本事業で家計表の作成をして、収支のバランスを一緒に確認し、課題の見える化を図り、

借入金の債務整理を弁護士につないだり、市役所へ同行し滞納している税金の調整を行いました。収入増の方法、支出減につながる助言や支援を行い、相談者の家計管理の意欲を引き出す支援を行い生活の再建ができるように取り組んできました。

<利用件数と利用による改善状況>

○利用件数（プラン作成件数） 8 件

プラン作成者 性別・年齢

年代	20 歳未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	合計
男	0	0	0	1	0	3	4
女	0	0	1	0	2	1	4

○支援状況 利用人数 30 人 （プランの作成者以外も含む 複数カウント）

支援内容	件数	支援内容	件数
家計プラン作成	8	滞納交渉	税金 13
相談時家計表の作成	19		家賃 8
キャッシュフロー表の作成	1		公共料金 8
生活福祉資金貸付	13	債務整理	弁護士 4
日常生活自立支援事業	4		司法書士 2
食料支援の利用	19		消費生活センター 5
住居確保給付金	1	生活保護につなぐ 4	

○利用による改善の状況 （利用件数 8 件のうち、改善状況を、1 件につき複数カウント）

内 容	件数	内 容	件数
自身の家計の現状把握	7	将来の収支変化の見通し	2
家計管理の重要性の認識	4	自立意欲の向上・改善	3
支出費目の優先順位位置付け	2	生活習慣改善	3
家計の範囲内での支出	3	対人関係・家族関係の改善	1

(3) 子どもの学習・生活支援事業

小学生の学習習慣の習得のほか、高校受検や、大学受験のための学力をつけたいというニーズが多く、2名の相談者が受験に合格できました。学習方法でオンラインを希望した相談者には、ZOOM のミーティング機能を活用し、対応しました。

<利用件数>

利用者数	実施日数	実施時間	支援員数
8 名	212 日	379 時間	9 名

<結果・改善状況>

支援結果・経過	件数
学習習慣の習得	6
家庭生活習慣の習得	5
高校・大学受験の学習	2
学校生活の定着	8
登校渋りの予防	6
自己有用感や自信をつける	6

(4) 就労準備支援事業

個々の「わたしらしくはたらく」を生活・社会・就労の3つの軸から支援するため、月2回の集団プログラムをメンバーのニーズに合わせて企画し、計29回実施しました。スタッフだけでなく仕事・生活サポーターやボランティアスタッフも継続的にかかわってもらうことで集団凝集性や個々の自己肯定感の向上にもつながりました。その他、ニーズに応じて個別プログラムや女性のグループ（通称、「女子会」）も今年度新たに企画し、新たな居場所を創設しました。

<実施状況> 令和4年4月～令和5年3月 集団29回、個別3回 延118人

項目	実人数	備考
参加者	13人	単発参加は3名
仕事・生活サポーター	2人	計18回参加
一般就労につながった参加者	3人	うち1名は福祉的就労
体験就労につながった参加者	2人	上記から2名

<女子会>

参加実人数	5人
開催回数	7回

<集団プログラム内容>

	開催日	プログラム名 *講師等の協力有
1	4月14日(木)	「スタートアッププログラム」
2	4月24日(日)	「地域の行事に参加しよう」*
3	5月12日(木)	「レッツゴーボランティア」*
4	5月26日(木)	「ことだまカフェ」*
5	6月15日(水)	「お話会 人生色々 すべての経験は宝物」*
6	6月30日(木)	「職場見学会」*
7	7月7日(木)	「やりたい仕事をみつけよう」*
8	7月21日(木)	「ストレッチ&ステップ」*

9	8月18日(木)	「くるme ここから 作戦会議 ～1人1人が主役の場へ～」
10	8月25日(木)	「リフレクションワーク～経験を未来へつなげてみませんか～」
11	9月1日(木)	「くるme ここからチームアート企画会議」
12	9月15日(木)	「チームアート」＊
13	10月6日(木)	「ハローワークをもっと身近に！自分らしく活用する方法を学ぼう！」＊
14	10月20日(木)	「食育講座 食事から免疫力アップ」
15	10月22日(土)	社協行事 ふれあいフェスティバル参加
16	11月4日(金)	「フォト散歩 秋を見つけに出かけよう」
17	11月17日(木)	「アサーティブ・コミュニケーション講座①」
18	11月24日(木)	「アサーティブ・コミュニケーション講座②」
19	12月1日(木)	「東御市のお宝（地域資源）を知ろう！見つけよう！」
20	12月9日(金)	「東御市の民話をたずねて」＊
21	12月15日(木)	「くるme ここから交流会 クリスマス会」
22	1月5日(木)	「新年行事 書初めで心を整えよう」＊
23	1月19日(木)	「自分のことを“内”から探ろう」＊
24	1月29日(木)	地域行事 巨大紙相撲大会に向けた紙相撲づくりWS＊
25	2月3日(金)	追加プログラム 裏打作業＊
26	2月16日(木)	「就職が決まるまでの私の歩み（現在進行形）」＊
27	2月23日(木)	地域行事 巨大紙相撲大会くるme ここからチームでの参加＊
28	3月2日(木)	「過去は変えられる！エッどうしたこと！？」＊
29	3月16日(木)	「くるme ここから 感謝の会」

(5) アウトリーチ支援事業

地域のなかで困りごとを抱えているが支援機関等につながっていない、社会的孤立の状態である方を対象に訪問支援等を行いました。初期相談の中では本人に繋がる前段階での家族支援から支援を行っています。

また、電話・来所での相談がしづらい人や難しい人が、相談につながりやすくなるように、新たにLINEによる相談「まいさぼ東御 ひきこもり・孤立相談窓口」を開設しました。

<利用件数>

年代	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	合計
男	1	2	3	5	4	3	18
女	1	1	0	0	0	0	2

<支援状況>

本人と面談	家族支援	関係者との共有	就労・中断
10	8	1	1

2. 日常生活自立支援事業

高齢者や障がいがあり判断能力が不十分な方々にとっても、東御市で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用に関わる相談などの援助を行いました。近年、福祉などの関係機関からの問い合わせや相談が多く、新規契約者が増加傾向にあるため、支援体制等の見直しが必要とされています。

専門員：4人 生活支援員：5人

(1) 相談件数 延 2,086 件 (新規・既契約含む)

専門員訪問調査回数	利用援助回数	ケース検討会議	書類等預かり件数
延 365 回	延 735 回	延 42 回	26 人 118 件

(2) 実利用者数 29 人

	認知症	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
新規	2	3	2	0	7
解約	1	0	0	1	2
総件数	7	10	7	5	29

*新規契約件数 7 件、解約件数 2 件 (うち成年後見制度移行件数 1 件)

*契約者実数 27 件 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

(3) 専門員・支援員利用援助回数 延 735 回

(4) 金銭管理、財産保全サービス事業 (市社協扱い)

実利用者数 2 人 (新規契約 1 件)

*契約者実数 2 件 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

3. 生活困難・困窮者への支援

(1) 生活支援の貸付相談件数 延 220 件

(2) 生活資金貸付総件数 (市社協扱い)

◆生活資金 (助け合い資金) 35 件 684,000 円

生活福祉資金特例貸付 (県社協扱い) の終了に伴い、生活資金の貸付件数が、コロナ前の貸付件数に戻る傾向にあるため、まいさば東御や関係機関等と連携を図り、生活の立て直しに向けた支援を行いました。

(3) 生活福祉資金貸付件数 (県社協扱い)

◆福祉資金 7 件 1,964,000 円

◆教育支援資金 5 件 2,375,000 円

(4) 生活福祉資金特例貸付（県社協扱い）令和4年9月末受付終了

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するに伴い、休業や失業等により生活資金が不足している世帯を対象に特例貸付を実施しました。また、多様な生活課題に対して、まいさば東御と連携を図り、食料支援や生活の立て直しに向けた支援を行いました。

ア) 各制度の貸付要件

	生活福祉資金貸付制度（特例措置）	
	緊急小口資金	総合支援資金
貸付対象者	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯
貸付上限	学校等の休業、個人事業主等の特例の場合、20万円以内 その他の場合、10万円以内	（二人以上）月20万円以内 （単身世帯）月15万円以内 貸付期間：原則3月以内
据置期間	1年以内	1年以内
償還期限	2年以内	10年以内
貸付利子	無利子	無利子

イ) 特例貸付申請件数 単位：件

	緊急小口資金	総合支援資金
4月	2	2
5月	3	1
6月	1	4
7月	1	1
8月	0	0
9月	6	1
合計	13	9

ウ) 特例貸付貸付額

◆緊急小口資金特例	13件	2,600,000円
◆総合支援資金特例	9件	4,800,000円

(5) 緊急食料支援・日用品支援件数

令和4年12月1日より、多くの食料支援ニーズに対応するため、長野県フードサポートセンター（長野県社会福祉協議会が長野県から受託）が創設されました。これまでのフードバンク信州（ななせ仲まち園）の食料支援に加えて、生鮮食品を含む食料支援を実施したり、フードバンク活動の普及や啓発等を行う事業として創設されました。

○食料支援

支援者	支援世帯数	延支援回数
フードバンク信州（ななせ仲まち園）	3	12
長野県フードサポートセンター（R4.12～）	2	8

(6) 食料支援事業（フードサポートとうみの縁）

令和4年度から独自事業として実施しました。利用者は前年度より179人増加し、食料支援のニーズは増加しました。収入が低く増収が見込めず生活保護に近い人や、収入がほとんどないが住宅ローン等のために生活保護が受けられない人なども利用しました。

また、東御市社会福祉大会等で食料寄付の受付（フード・ドライブ）を行いました。

○利用者実人数 118人

○利用者延人数 784人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5. 1月	2月	3月	合計
人数	53	61	71	66	61	65	66	71	70	56	65	79	784

○寄付受付者延人数 181人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5. 1月	2月	3月	合計
人数	7	9	14	29	13	10	24	21	31	8	7	8	181

○寄付受付団体数 延13団体

○食料在庫量（寄付、寄付金、事業費から購入）令和4年4月～令和4年10月まで

食料重量…1214.6kg

米…1833.5kg

○食料寄付重量（米、レトルト、缶詰、即席めん等）令和4年11月～令和5年3月

事業管理の簡易化のため、令和4年11月から寄付食品のみの重量管理にしました。

寄付食料重量…164.2kg

○食料品購入金額 197,031円

○長野県フードバンク活動団体連絡協議会 4回

○「日用生活用品等の緊急支援事業」（長野県社協） 22世帯

4. 結婚相談事業

372,466円

結婚を希望する未婚の男女に対して、在住地や在勤地を問わず、広域的な結婚支援活動を念頭に置き、各種相談の受け付け及びお見合いの場の設定等を行いました。

(1) 相談状況 相談員 5人

・相談日 毎週日曜日 午前9時～正午

・相談場所 中央公民館 学習室

開催日数	相談件数	相談登録者数	お見合い件数	結婚成立件数
39日	延59件	183人 (男性144人、女性39人)	12件	0件

(2) 東御市結婚活動支援実行委員会

・結婚相談員（会長）と社協事務局担当者が実行委員として参加

	日にち	内容
第1回 委員会	令和4年9月20日	これまでの取り組み・令和4年度の活動について
イベント	令和4年11月27日	男女40人でのお見合いイベント（上田高砂殿）
第2回 委員会	令和5年2月21日	令和4年度活動報告・次年度の活動について

(3) 4市町村結婚相談員連絡会事業（東御市、長和町、青木村、立科町）

・4市町村との結婚相談員連絡会及び情報交換会
年間11回 参加相談員（東御市） 延49人

5. 地域生活課題解決に向けた地域づくり・ネットワークづくり・グループ支援

(1) 子どもだれでも居場所づくり事業 通称：「くる me」

市内社会福祉法人と公益財団法人の協働により、各種相談機関など関係機関が声掛けを行い、世代を超えて、親子や青年から高齢者、学生、市民ボランティアが協働し、誰もが役割を持ち、自己肯定感や人とのつながりを創出し、安心できる居場所づくりを行いました。スタッフについては、市内の不登校の支援を行っているふれあい教室の生徒や参加者が活動する日もありました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響や体験活動の充実のため、夏季は屋外活動を中心に、冬季は北御牧公民館や東御市総合福祉センターで実施しました。

○活動実績

実施日	全参加人数	スタッフ	大人	子ども	世帯数	場所	内容
4月24日	57	20	14	23	12	中央公民館 3階講堂	紙相撲大会の巨大紙相撲づくり
5月15日	45	12	13	20	11	中央公民館 3階講堂	「美術・工作教室」みんなでウクライナの旗を作って平和を願おう！！
5月29日	72	27	14	31	15	芸術むら公園	カヤック、外遊び、弁当配布
6月26日	93	44	21	28	15	芸術むら公園	カヤック、外遊び、弁当配布
7月17日	—	—	—	—	—	—	コロナウィルス感染症拡大の為 活動中止
7月31日	6	6	—	—	9	総合福祉センター	弁当配布のみ 9世帯に29個配布
8月11日	56	21	11	24	10	芸術むら公園	カヤック・外遊び弁当配布
8月21日	45	18	8	19	9	新張の里山	里山探検・ウォータースライダー・ ドラム缶風呂・弁当配布
9月25日	62	21	14	27	13	北御牧公民館	カヤック、外遊び、弁当配布
10月23日	53	16	9	28	13	新張の里山	里山探検、ウォータースライダー、 ドラム缶風呂、弁当配布

11月27日	57	33	8	16	9	芸術むら公園 テニスコート	草滑り、焼き芋、弁当配布
12月25日	62	20	15	27	14	総合福祉センター	豚汁とお餅の提供 ヒンメリづくりワークショップ
1月29日	43	17	8	18	10	北御牧公民館	テーブルゲーム・手づくな 歓談・弁当配布
2月26日	49	17	9	23	12	北御牧公民館	テーブルゲーム、段ボール工作、 外の散策、弁当配布
3月26日	53	17	13	23	11	ケアポートみまき ふれあいホール	テーブルゲーム、歓談、 遊具、食事
合計	762	289	157	307	163		

(2) 仕事・生活サポーター事業

自立相談支援事業の相談者やその子どもに、オーダーメイドの支援をするために、市民に支援員（サポーター）登録について依頼をしました。就労準備支援事業のサポーターとしても活躍しました。

○実績数

利用者数	利用回数	サポーター数	支援 内容	孤立防止	生活・社会自立 意欲喚起	就労自立 意欲喚起
4人	39回	3人		4	4	3

(3) 多頭飼育にかかわる課題解決とチーム支援 計12回

動物の多頭飼育により、生活環境や地域住民との関係性について課題を抱えている世帯や人の支援を進めるために、保健所、動物愛護センター、NPO法人、市行政の担当課、長野県社協などと、「チームTAG」を結成し、多頭飼育問題にかかわる人や関係機関同士が学びと情報交換と発信のため定例会や研修会を開催しました。

内 容	「チームTAG」 定例会	動物の飼いかた セミナー開催	地域猫活動と 多頭飼育崩壊セミナー	多頭飼育問題を 考えるセミナー
回 数	12回	1回	2回	4回
参加機関 (参加者数)	8機関	6機関	7機関	10機関

(4) 東御市の就労支援を考える会議

開催日	令和4年8月4日	令和4年12月2日	令和5年2月13日
内容	東御市の就労支援を考える 関係者連携会議 (ユニバーサル志縁センター の協力による)	就労体験等協力事業所と 東御市社協 (まいさば) 会議	東御市地域における 「多様な地域連携による就労 支援」の会議
参加者数	14人 (農業事業所含む)	6人 (農業事業所含む)	9人 (農業事業所含む)

(5) 身寄りのない人・単身者の人の支援

まいさば東御や各種相談機関には、身寄りのない人、身寄りがあっても支援が受けられない人、単身で長年にわたり生活をしている人は、多くの課題を抱えて来所します。東御市福祉課と連携し、当事者同士が集まるグループ「はーべすとの会」の活動支援と個別のケースについてネットワークを作り、解決する取り組みを実施しました。

また、「はーべすとの会」は、田中駅構内の花壇づくりを、東御清翔高校や田中地区地域づくりの会と協働して実施しました。

	「はーべすとの会」 定例会・花壇づくり活動・その他	身寄りない人（個別ケース）の人生の最終段階における課題整理と役割分担会議
会議・活動回数	30 回	4 回
参加人数	延 189 人 (高校や田中地域づくりの会など 協働先の人数含む)	延 25 人

(6) 東御清翔高校との連携事業

東御清翔高校 1 年生のキャリア教育授業に協力しました。子どもの貧困の連鎖を予防する取り組みとして行われ、支援が必要な世帯や生徒について学校と連携を図りました。

○対象：高校 1 年生全員 活動日：令和 4 年 10 月 26・11 月 2 日・9 日

(7) 協力事業所登録・就労体験・見学

職場見学・就労体験・プチバイト・認定就労訓練について協力する事業所を募り、登録票を提出の上、パンフレットにしました。

○協力企業数…32 か所（令和 3 年度：26 か所）

農業	医療・福祉	食品・製造	警備	環境整備	洗濯業	運輸
14	4	8	2	2	1	1

○協力内容（協力事業所以外の事業所も含む）

協力事業所の登録も増え、就労見学や、就労支援プロジェクトを利用した就労体験を昨年より多く行うことができました。

職場見学・体験	プチバイト
15	0

(8) 「医療・介護・福祉の無料相談会」・「人権よろず相談」

東御市主催「医療・介護・福祉の無料相談会」：計 50 回

東御市主催「人権よろず相談会」：計 12 回

(9) 小学校区単位の相談・地域づくり体制の検討

○東御市福祉課・子供サポートセンター・地域づくり支援室との協議 5 回

○「持続可能な地域づくり・暮らしづくり講演会」（東御市企画振興部主催）を共催

日 時：令和 5 年 3 月 25 日 午後 1 時
 場 所：東御市中央公民館
 内 容：ワークショップ・講演
 講 師：信州大学 経法学部 井上信宏教授
 参加者：64 人

6. 東御市子どもの居場所づくり事業

令和 4 年度より、市の委託を受け、東御市社協が主体となり開催しました。子どもサポートセンター・東御市社協・福祉課などで、支援を必要とする子どもやその世帯に声をかけて活動しました。立ち上げ時は 4 世帯だった参加者は、回を追うごとにニーズのある世帯が増え、多いときで 10 世帯、20 人ほどが参加しました。

活動の内容は、毎回、多彩なプログラムを提供しています。子どもの主体性を大切にする、参加者が安心できる、役割を担える等に配慮しています。

○期間：令和 4 年 8 月～令和 5 年 3 月（毎週水曜日）

○開催回数：31 回

○開催時間：午後 3 時～午後 6 時（12 月 14 日以降は午後 7 時）

○利用者数：のべ 502 人

未就学児：20 人、小学生：343 人、成人：133 人（中学生～大学生：ボランティアとして計算）

○ボランティア数 117 人

○支援スタッフ数（職員・支援員等）254 人

回数	日付	場所	小学生	合計	実施内容
1	8 月 3 日	北御牧公民館	7	10	学習、歓談、室内遊び、弁当配布
2	8 月 10 日	北御牧公民館	7	10	学習、歓談、室内遊び、弁当配布
3	8 月 17 日	北御牧公民館	5	9	学習、歓談、室内遊び、弁当配布
4	8 月 24 日	北御牧公民館	5	6	学習、歓談、室内遊び、散歩、弁当配布
5	8 月 31 日	北御牧公民館	8	10	学習、歓談、室内遊び、散歩、弁当配布
6	9 月 21 日	北御牧公民館	11	13	学習、歓談、室内遊び、散歩、 フラワーアレンジメント、弁当配布
7	9 月 28 日	北御牧公民館	11	12	学習、歓談、室内遊び、川遊び、 ギター演奏、弁当配布
8	10 月 5 日	北御牧公民館	9	10	学習、歓談、室内遊び、散歩、弁当配布
9	10 月 12 日	北御牧公民館	7	8	学習、歓談、室内遊び、散歩、弁当配布
10	10 月 19 日	北御牧公民館	10	11	学習、歓談、室内遊び、散歩、 アートワークショップ、弁当配布
11	10 月 26 日	北御牧公民館	10	11	学習、歓談、室内遊び、散歩、 腹話術披露、弁当配布

12	11月2日	北御牧公民館	11	15	学習、歓談、室内遊び、散歩、 じゃんけんゲーム、弁当配布
13	11月9日	北御牧公民館	11	12	学習、歓談、室内遊び、散歩、一閑張、 弁当配布
14	11月15日	北御牧公民館	12	16	学習、歓談、室内遊び、散歩、 しんたい運動指導、弁当配布
15	11月22日	北御牧公民館	9	11	学習、歓談、室内遊び、散歩、弁当配布
16	11月30日	北御牧公民館	11	17	学習、歓談、室内遊び、散歩、弁当配布
17	12月7日	北御牧公民館	10	17	学習、歓談、室内遊び、リース作り、 弁当配布
18	12月14日	東御市総合福祉 センター	8	14	学習、歓談、室内遊び、リース作り、 スノードームづくり、食事づくり
19	12月21日	東御市総合福祉 センター	15	19	学習、クリスマス会、食事づくり
20	1月10日	東御市総合福祉 センター	14	19	学習、歓談、室内遊び、 ダンス指導、食事づくり
21	1月18日	東御市総合福祉 センター	16	21	学習、歓談、室内遊び、 しんたい運動指導、食事づくり
22	1月25日	東御市総合福祉 センター	15	20	学習、歓談、室内遊び、 しんたい運動指導、食事づくり
23	2月1日	東御市総合福祉 センター	13	19	学習、歓談、室内遊び、節分鬼ごっこ、 食事づくり
24	2月7日	東御市総合福祉 センター	12	16	学習、歓談、室内遊び、つるし雛作成、 食事づくり
25	2月15日	東御市総合福祉 センター	13	22	学習、歓談、室内遊び、つるし雛作成、 食事づくり
26	2月22日	東御市総合福祉 センター	10	15	学習、歓談、室内遊び、つるし雛作成、 しんたい運動指導、食事づくり
27	3月1日	東御市総合福祉 センター	16	19	学習、歓談、室内遊び、ダンス指導、 食事づくり
28	3月8日	東御市総合福祉 センター	15	22	学習、歓談、室内遊び、食事づくり
29	3月15日	東御市総合福祉 センター	13	20	学習、歓談、室内遊び、 しんたい運動指導、食事づくり
30	3月22日	東御市総合福祉 センター	17	28	学習、歓談、室内遊び、万華鏡づくり 食事づくり
31	3月29日	東御市総合福祉 センター	12	17	学習、歓談、室内遊び、万華鏡、 ペタペタアート、食事づくり
合計			343	469	

Ⅲ 地域福祉活動

【 地域ささえあい活動の支援・推進 】

1. おらほの地域福祉づくり事業

459,619 円

地域の課題に対して、地域役員が主導し、地域住民が主体となって解決する仕組みづくりを応援するため、計 15 支部に助成金を交付すると共に、各種相談に応じました。

＜新規支部＞ 8 支部 240,000 円 (1 支部 3 万円)

※申請日順

支部	取り組み状況	取り組みメニュー
新屋	新規	地域の絆を深める活動
金井	新規	地域の絆を深める活動
常田	新規	災害時支えあい台帳づくり
島川原	新規	地域の困りごと調べ
大日向	新規	災害時支えあい台帳づくり
日向が丘	新規	地域の見守り活動
城ノ前	新規	地域の困りごと調べ
中屋敷	新規	災害時支えあい台帳づくり

＜継続支部＞ 7 支部 210,000 円 (1 支部 3 万円)

※申請日順

支部	取り組み状況	取り組みメニュー
海善寺北	2 年目	地域の見守り活動
大石	3 年目	地域の絆を深める活動
東上田	3 年目	地域の見守り活動
桜井	2 年目	いきいきサロンの活性化
片羽	2 年目	支えあいマップづくり
寺坂	3 年目	災害時支えあい台帳づくり
東町	2 年目	災害時支えあい台帳づくり

2. 支部福祉活動の支援

(1) 支部福祉活動助成金の交付

67 支部 1,904,000 円

(2) 地区別地域福祉懇談会

支部長・福祉運営委員長等、支部福祉活動に関係する地域役員等を対象として、地区別に福祉懇談会を開催し、各種情報提供のほか、支部ごとの懇談を図りました。

地区	日にち	場所	参加人数
滋野	2 月 17 日	滋野コミュニティセンター	37 人
祢津	2 月 20 日	総合福祉センター	37 人
和	2 月 22 日	和コミュニティセンター	36 人

田中	2月24日	中央公民館	50人
北御牧	2月27日	北御牧公民館	43人

(3) いきいきサロン等助成事業

483,540円

各支部で行うサロン事業に助成を行いました。昨年度はコロナ禍で実施回数が大幅に減少しましたが、今年度は増加傾向にありました。

・実施支部 26支部 ・総参加者 5,253人

事業	会食会	茶会	世代間交流	福祉新聞の発行	講演・講習会
回数	52回	100回	7回	14回	2回
参加者数	1,162人	1,388人	294人	1,349部	
事業	課題調査	福祉施設訪問	食事サービス	ふれあい訪問	
回数	0回	0回	3回	21回	
参加者数			106人	2,303人	

(4) 地域活動援助講座

サロンを運営する福祉運営委員やボランティアを対象に、サロンで活用できる料理講習会を、感染予防対策を講じて開催しました。例年調理して試食をしていますが、持ち帰りの対応にしました。参加者からは簡単に美味しくできると好評でした。

○いきいきサロンのための料理講習会 2回

・対象者 各区福祉運営委員
・講師 東御市食生活改善推進協議会会員

期 日	テーマ	参加者
令和4年7月4日(月)	手軽に作れる昼食、おやつ ～サラダソーめんいなり・とうもろこしの和風チーズガレット～	19人
令和5年3月3日(金)	おひな祭りによせて ～飾り寿司・デザート～	16人

(5) 地域の絆づくり支援事業

・レクリエーション用品の貸し出し
ハンドベル、お手玉、輪投げ等ゲーム用具等 149件

(6) 地域への出前講座 21回

各支部で開催するサロンが感染予防を考慮して中止とする例が多かったが、年度後半から出前講座の依頼が増えました。

講 座	回数	講 座	回数
介護予防体操（レクリエーション）	5回	エンディングノート	2回
認知症講座	0回	レクリエーション等補助	1回
介護保険の上手な使い方	0回	ようこそ！社協	0回
ボッチャ体験	16回	その他	0回

(7) 第7回東御市社会福祉大会

350,260 円

日 時 令和4年7月16日(土) 午後1時30分～午後3時40分

場 所 中央公民館3階 講堂

参加者 地域役員や福祉関係者、来賓など合わせて 120 人

内 容 (1) 式典 午後1時30分～午後2時20分(50分)

・会長挨拶

・表彰 地域福祉功労者、他

・来賓祝辞 市長、県議会議員(東御市選挙区)、市議会議員

(2) 講演 午後2時30分～午後3時40分(70分)

■テーマ 『だれでも』『どこでも』『どんなことでも』

”寄り添い型”の支援を考える。

■講 師 社会福祉法人 一路会

千葉県中核地域生活支援センター がじゅまる

センター長 朝比奈ミカ 氏

3. 福祉のまちづくり講座「とうみ男の遊び塾」

男性のコミュニティーへの参加を支援し、地域における役割や生きがいづくりを支援するため、様々なテーマのもとに集えるサロンを開催しました。

	日にち	参加人数	内容
第1回	1月19日	11人	試す防災・減災 ～ツナ缶は本当にランブになるのか～
第2回	2月16日	11人	カンタン?! 消しゴムはんこ ～手彫りでイラストから文字まで～
第3回	3月16日	12人	うまい! 日本茶を研究 ～毎日のお茶をレベルアップ～

4. 終活セミナー

日 時 令和5年3月14日(火) 13時30分～15時30分

場 所 東御市総合福祉センター3階 研修室

内 容 ①終活ってなに? ～エンディングノートの書き方～

講師 社会福祉協議会職員

②いざという時に ～介護サービスのい・ろ・は～

講師 社会福祉協議会職員

参加者 5人

5. 介護講座「あった介護教室」

日 時 令和5年3月25日(土) 午前10時00分～午前11時30分

場 所 総合福祉センター1階 ボランティアルーム2

内 容 「認知症サポーター養成講座」

講師 認知症介護指導者

居宅介護支援事業所「心おもい」管理者 高木昇氏

参加者 20人

6. 福祉自動車貸し出しサービス事業

363,448 円

- ・登録者 利用会員数 77 人
- ・利用延回数 103 回（内、福祉移送ボランティア 11 回）

7. 福祉用具貸与事業

392,347 円

貸出物品	備品台数	利用件数
介護用ベッド	63	69
車椅子	80	※131
マットレス・エアマット	63	68
ポータブルトイレ	49	60
その他（歩行器等）	20	17
合 計	275	345

※車いすの利用件数の内、50 件は短期間の貸出件数

8. 生活支援コーディネーター事業

東御市からの委託を受け、生活支援コーディネーターを配置し、地域福祉活動の推進及び福祉課題や潜在的なニーズの発掘に取り組みました。

（1）東御市生活支援協議体会議の開催及び運営（開催：計 3 回）

〔第 1 回〕日時：令和 4 年 5 月 10 日 午後 1 時 30 分～午後 3 時

内容：「東御市内の介護保険・介護予防の状況についての情報共有」

会議中においてコーディネーターの役割を紹介

〔第 2 回〕日時：令和 4 年 7 月 1 日 午後 1 時 30 分～午後 3 時

内容：「在宅医療・人生会議について」、「もしバナゲーム体験」

〔第 3 回〕日時：令和 5 年 2 月 14 日 午後 1 時 30 分～午後 3 時

内容：「今年度の各団体の活動発表」、「情報交換グループワーク」

（2）新たな通いの場・通所型サービスの立ち上げ支援（出席等：計 12 回）

① 地域包括支援センターが開く「通いの場・通所型サービス立ち上げについての関係者研修会」

へ定期参加。関係者と市内でのサービス提供・立ち上げ等について協議。（8 回）

② 住民主体によるサービスの継続的な担い手を育成するための「介護予防住民指導者養成講座」

へ参加。（3 回）

③ 先進地への視察として、小諸市で行われた「第 1 回小諸市介護予防ささえ愛サポーター研修」

を関係者と見学。（1 回）

（3）行政区等、既存の組織による地域（福祉）活動への支援（相談対応等：計 101 回）

※主にいきいきサロン等の住民の交流の場づくり、災害時の支えあい体制づくり、安否確認体制づくりに関する相談等の受付状況。

① 区が主体で実施する福祉活動に関する相談・支援（来所・電話 85 回）

② 区が主体で実施する福祉活動に関する会議等への出席（16 回）

(4) 個別訪問及び個別ケースへの支援（対応等：計 223 回）

※社協事業を通じた対応等を含めた個別訪問・個別ケースへの対応状況

① 社協事業内における個別訪問（198 回）

※訪問の際には「社協等の相談体制に関するご案内資料」を配布。生活支援コーディネーターについても紹介するなど、周知啓発も実施。

② 訪問ケースへの対応（25 回）

※地域の課題として把握された個別ケースに対して、関係者と協力し対応したケース等。

例. 「近隣住民から“ゴミが散らかっている家がある”との相談があり、地域住民（役員等）と協力し、片付けを実施」ほか

【 共同募金配分事業 】

1. 高齢者への活動

(1) ひとり暮らし高齢者の福祉サービス

○おせち料理

394,320 円

市内の飲食店に調理委託したおせち料理を、対象世帯へ、民生児童委員の手渡しにより配布することで、年末の安否確認及びつながりを感じられる地域づくり活動の一助として実施しました。

- ・期 日 令和4年12月30日
- ・訪 問 担当民生児童委員 延 56 人
- ・対象者

一人暮らし 高齢者	高齢者 世帯	障がい者 独居世帯	障がい者 世帯	父子家庭	合 計
105 人	12 世帯 (24 食)	6 世帯	4 世帯 (8 食)	2 世帯 (6 食)	129 世帯 (149 食)

(2) 敬老祝賀事業

○金婚祝賀

39,501 円

東御市と東御市シニアクラブ連合会で主催（共催：東御市社会福祉協議会）する金婚祝賀式典において、祝品（慶祝状の額）を贈呈しました。

- ・金婚祝賀式典 令和4年9月15日（木）
- ・該当者 27 組
- ・会 場 中央公民館 講堂

○敬老祝賀

611,000 円

市内の米寿、白寿を迎える高齢者を対象に、敬老祝品（寝具等）を贈呈しました。贈呈については、訪問を希望する対象者には市長と社協会長が訪問させていただき、その他の方は民生児童委員に協力を依頼し贈呈しました。

- ・対象者 合計 189 人（米寿祝 167 人・白寿祝 22 人）
- ・祝賀訪問 56 人 令和4年9月21日～22日

2. 障がい者への活動

(1) 第19回障がい者福祉のつどい

30,970 円

12月3日～12月9日の「障がい者週間」の啓発期間に併せ、市内の関係機関・団体で実行委員会を組織し、障がい児者の抱える諸課題について啓発を行いました。

- ・日 時 令和4年11月26日（土） 午後1時30分～午後3時30分
- ・会 場 中央公民館3階 講堂
- ・参加者 福祉団体関係者、来賓等 101 人
- ・内 容 講演会 いのち響かせて ～越後響女唄と私～
講師：広沢里枝子 氏

(2) 障がい者社会参加支援事業助成

150,000 円

地域における障がい児者への理解を深め、運動・スポーツを通して障がい児者の社会参加を推進する活動に取り組む『みんなの健康×スポーツ実行委員会（事務局：公益財団法

人身体教育医学研究所)』に助成金を交付しました。コロナ禍における事情を考慮し、例年実施していた行事を一部中止としましたが、感染予防対策を講じてボッチャのクラブ活動を中心に取り組みました。

- ① ユニバーサルスポーツの場づくり「わくわくスポーツ」への支援
 開催期間 令和4年5月～令和5年1月(8回)
 場 所 東御市中央公園第二体育館、東御市中央公民館、総合福祉センター2階
 参 加 者 362人(スタッフ含む)
 内 容 『ボッチャ』を中心とした活動
- ② パラリンピアン交流イベント「みんなのスポーツ体験会」
 開催期間 令和4年8月21日(日)
 場 所 東御市中央公民館2階講義室及び3階講堂
 参 加 者 89人
 内 容 第一部「車いすスポーツを知ろう!」
 第二部「トークセッション「ボッチャの魅力・面白さ」及び実践」
- ③ 東御市総合体育大会ボッチャ競技開催支援
 開 催 日 令和4年10月15日(土)
 場 所 東御市第2体育館
 参 加 者 24チーム 108名
- ④ とうみボッチャ2023
 開 催 日 令和5年2月18日(土)
 場 所 東御市中央公園第一体育館
 参 加 者 224名
 内 容 ボッチャの体験会及び競技と交流に分かれての大会

3. ボランティア活動

- (1) ボランティア連絡協議会・ボランティア団体活動補助金(19団体)の交付 345,000円
 市内のボランティア団体38団体・個人ボランティア22名が登録している東御市ボランティア連絡協議会の運営経費補助金60,000円と、同協議会に登録し、社会福祉協議会の推進するボランティアの啓発活動を協働して取り組む19団体に15,000円の補助金を交付しました。
- (2) 男性の料理サロン「楽ちん・しあわせごはん」4回 90,849円
 男性に対して社会参加の機会・きっかけを提供すること、また家庭内での役割を担うきっかけ作りとしていただくことを目的に、料理サロンを開催しました。
 講師は市内の料理関係団体に所属経験のある2人に依頼しました。

日にち	テーマ	参加者
令和4年1月15日	もろこしおこわ、 ライス餃子、丸ごと焼きピーマン	12人
10月29日	お好み焼き、 焼くだけ手羽先、生春巻き	12人
12月10日	手打ちそば、 ぶりの照り焼き、そば羊羹	11人

令和5年2月11日	ちらし寿司、 薄揚げの月見煮、白和え	10人
-----------	-----------------------	-----

- (3) ひとり親家庭交流支援事業 136,264 円
ひとり親世帯を対象に、親子間及び家庭間の交流を深める為、交流ツアーを実施しました。

- ・期 日 令和4年12月3日 午前7時～午後8時00分
- ・場 所 山梨県 富士急ハイランド
- ・参加者 11世帯 大人11人 子ども13人 (合計24人)
- ・内 容 バス内でのレクリエーション、テーマパーク内での交流

- (4) 福祉協力校の指定、活動助成 (8校) 400,000 円
市内の小中学校・高校8校を対象に、社会福祉への理解と関心を高めるとともに、社会への奉仕や連帯の精神を養う等、福祉教育の推進を図ることを目的として助成金を交付しました。 ※実績については福祉教育分野に別掲。

4. 社会福祉の啓発

- (1) 社協報「ほほえみ」(ボランティア情報「かわら版」含)の発行 2,321,220 円
・発行回数 年6回 奇数月の1日発行
・発行部数 10,800部
・編集委員 1人

- (2) 啓発パンフレットの作成、配布 143,220 円
・「社協のしおり」420冊

- (3) ホームページ、フェイスブックでの情報発信
[ホームページアドレス URL <http://www.tomisyakyo.or.jp>]

- (4) 介護の日・福祉講演会の開催 43,190 円
厚生労働省が介護課題を啓発する為に設けた「介護の日」に併せて、介護の日・福祉講演会を開催しました。

- ・期 日 令和4年11月12日 午前10時～11時30分
- ・場 所 総合福祉センター3階 講堂
- ・参加者 60人
- ・内 容 ◆講 演
「無意識の差別と支えることについて～認知症ケアから思うこと～」
講師 NPO 法人やじろべー 代表 中澤純一 氏

5. ふれあい交流サロン

- (1) ふれあい交流サロン “おいでよサンサン” 144,022 円
高齢者の生きがいづくりを目的に開催しました。月毎の開催を予定していましたが、感染予防のため、年9回の開催としました。

- ・開催回数 合計9回（令和4年7月、8月、令和5年1月は中止）
- ・参加者数 延85人（男：17人・女：68人）

Ⅳ 福祉教育、ボランティア活動の推進

1. 福祉教育の推進

福祉協力校として指定した市内の小中学校・高校で取り組んだ福祉教育実践活動は下記のとおりです。各校ともに、感染症予防対策を講じて、福祉施設等との交流や福祉体験学習などに取り組みました。

<活動内容>

学校名	内 容
田中小	赤い羽根共同募金、エコキャップ回収、使用済みカイロ回収、給食残食なしすごろく、学年・学級による SDGs の学習、目の不自由な方の生活の工夫について授業
滋野小	視覚障がい当事者との交流、車いす体験、アイマスク体験、ユニセフ募金、赤い羽根募金、大菊栽培、書き損じ等不要官製はがき収集、レインボー祭り
祢津小	高齢者疑似体験、視覚障がいの学習、点字体験、赤い羽根募金、米づくりでの交流、ネットタイムでの地域の方々との交流、特別支援学級との交流、清掃活動、保育園との交流
和 小	新入生へ交通安全のプラ板のプレゼント、エコキャップ・アルミ缶集め、車いすツインバスケット体験、上原大祐氏の講義、卒業生へ花さき山作成・掲示及び紙粘土アートのメッセージ作成・掲示
北御牧小	車いすツインバスケット体験、ポッチャ体験、対話型鑑賞体験、赤い羽根共同募金、ストラップづくり、ペットボトルキャップ集め
東部中	サマーチャレンジボランティア、福祉体験の模造紙掲示、ポッチャ体験、高齢者施設フォーレストでのボランティア、赤い羽根共同募金、ベルマーク収集
北御牧中	ケアポートみまきでのボランティア活動、ポッチャ体験、高齢者疑似体験、赤い羽根共同募金、地域活動
東御清翔高	田中駅的环境整備、車いすツインバスケット体験、河川生物研究、子どもげんき塾

<福祉体験学習>

学校名	実施回数	講師	ボランティア	延人数	内 容
滋野小	4 回	4 名	15 名	148 名	車いす体験、対話型鑑賞体験、手話体験、点字体験
祢津小	1 回	0 名	4 名	47 名	高齢者疑似体験
北御牧小	2 回	3 名	7 名	65 名	車いすツインバスケット体験、ポッチャ体験
東部中	2 回	0 名	10 名	87 名	ポッチャ体験
北御牧中	3 回	0 名	7 名	84 名	高齢者疑似体験、ポッチャ体験、アイマスク体験
東御清翔	1 回	3 名	4 名	33 名	車いすツインバスケット体験

2. ボランティア活動の推進

コロナ禍における影響により、ボランティア団体の取り組む活動が制限された傾向にありましたが、音訳・点訳・手話等、障がい者の生活を支援するボランティア活動や災害時を想定したボランティア活動に継続して取り組みました。

(1) ボランティアに関する登録・相談・情報提供・調整の状況

コロナ禍でのボランティア活動の問い合わせが多くありました。

- ・ボランティア団体登録(者)数 76 団体 (3,309 人)
- ・くろみの里ボランティアバンク(個人ボランティア)登録者数 80 人
- ・相談者数 3,088 人
(来所 1,183 人・電話 695 人・メール 254 人・訪問 86 人・その他 870 人)
- ・相談件数 ボランティア依頼・受付・相談等 延 6,461 件
- ・ボランティア相談・依頼件数 音訳・点訳・施設ボラ、出前講座等 延 1,230 件

(2) ボランティア活動保険の補助

新型コロナウイルス感染予防のため活動を自粛しているボランティアが多く、保険の加入も例年の半数程度でした。

- ・加入者数 基本プラン 31 人
天災プラン 35 人
感染プラン 309 人
- ※保険料補助 天災プラン 271 人(社協負担 250 円) 67,750 円

(3) ボランティア連絡協議会の活動支援

例年、ボランティア連絡協議会と協働し、ボランティア団体の交流を図り、ボランティアの普及啓発に取り組んでいますが、コロナ禍における影響により、感染予防対策を講じながら開催しました。

① 楽しく交流する会 (障がい者とボランティアの交流会)

- ・期 日 令和4年9月12日(月)
- ・場 所 GMOアスリートパーク湯の丸
- ・参加者 22 名
- ・内 容 GMOアスリートパーク湯の丸内の屋内プール及び湯の丸ヴィレッジの見学、アスリート食堂での昼食

※参加定員の縮小、感染予防対策を講じながら開催

② ボランティアセンター研修会

- ・期 日 令和5年2月26日(日)
- ・場 所 東御市中央公民館2階講義室
- ・内 容 講演「福祉活動における第一歩 ～コミュニケーションの難しさ～」
講師 情報バリアフリーラボ
代表 伊藤英一 氏

- ・参加者 14 団体、41 名

※中央公民館2階講義室で、感染予防対策を講じながら開催

(4) 上小ブロックボランティアフォーラム

- ・期 日 令和4年11月26日(土)
- ・場 所 上田創造館
- ・参加者 東御市から6人参加
- ・内 容 テーマ「高校生ボランティアの活動、実践報告会
～いまできること、いまだからできること～」
発表校 上田高校、上田染谷丘高校、上田千曲高校
コメンテーター 長野大学生

(5) 長野県まちづくり・ボランティアフォーラム 2022

- ・期 日 令和4年12月3日(土)～12月4日(日)
- ・場 所 佐久大学他
- ・参加者 0名
- ・登壇者 1名(は一べすとの会)
- ・内 容 第1部「地域力の源を知ろう！」
第2部「佐久大学からこんにちはー地域と紡ぐヒューマンケアー」
分科会「私らしいエンディングを迎えるために」他5分科会

3. ボランティアの養成、研修

(1) 夏のボランティア体験教室(サマーチャレンジボランティア)

- ・期 日 令和4年8月6日(土)
- ・場 所 東御市総合福祉センター1階ボランティアルーム及び東御市第二体育館
- ・参加者 4人
- ・内 容 ユニバーサルスポーツクラブで行っているわくわくスポーツに参加し、ボッチャ体験及び非常食体験

(2) 手話ボランティアスキルアップ講習会 4回

- ・期 日 令和4年10月10日(月)午前・午後各1回…充実コース
令和4年12月17日(日)午前・午後各1回…初心者コース
- ・場 所 総合福祉センター1階ボランティアルーム1及び2
- ・内 容 充実コース2回、初心者コース2回
- ・参加者 延 19人
- ・講 師 長野県聴覚障害者協会登録講師 矢野 吉江 氏
本木 理恵 氏 f

(3) 音訳ボランティア養成セミナー 3回

- ・期 日 令和5年2月1日(水)、2月8日(水)、2月15日(水)
- ・場 所 総合福祉センター ボランティアルーム1
- ・参加者 延 8人
- ・講 師 元SBCアナウンサー 池田知可子 氏
音訳利用者 広沢里枝子 氏、視覚障がい当事者 福井紀子 氏
りらの会会員、社協職員

- (4) 読み書き支援ボランティア養成セミナー 1回
- ・期 日 令和4年6月30日(木)
 - ・場 所 総合福祉センター1階ボランティアルーム1
 - ・参加者 延 5人
 - ・講 師 読み書き支援利用者 広沢里枝子 氏、視覚障がい当事者 福井紀子 氏
りらの会会員、社協職員
- (5) 音訳スキルアップ講習会 4回
- ・期 日 令和4年10月11日(火)、10月20日(水)
令和4年11月8日(火)、11月17日(木)
 - ・場 所 東御市中央公民館2階学習室5
 - ・参加者 延 33人
 - ・内 容 朗読技術向上
 - ・講 師 元SBCアナウンサー 池田知可子 氏
- (6) 災害ボランティア養成講座
- ・期 日 令和5年3月11日 午前10時～午前11時30分
 - ・場 所 総合福祉センター3階 講堂
 - ・参加者 71人
 - ・内 容 ◆ 自然災害と災害ボランティア活動とは
～ ”東御に災害はこない！” は本当か ～
担当：東御市社会福祉協議会 担当職員
長野県社会福祉協議会 担当職員
◆ 事例紹介
「“ひと”から考える災害対策と被災地支援 ～被災現場の事例から学ぶ～」
事例提供：長野県社会福祉協議会 担当職員
◆ ワークショップ
「地域で出来る災害対策 ～”ひと”が作る災害に強い地域～」
進行：東御市社会福祉協議会
助言：長野県社会福祉協議会 担当職員
- (7) 福祉教育サポーター養成講座
長野県内での新型コロナウイルス感染者の増加を受け中止としました。
- (8) ボッチャサポーター養成講座
- ・期 日 令和4年8月20日(土)、9月10日(土)、9月17日(土)
 - ・場 所 東御市中央公園第二体育館
 - ・参加者 延 17人
 - ・内 容 ボッチャの基本と市内ボッチャ活動への支援

(9) ボッチャサポーター養成講座（佐久大学）

- ・期 日 令和4年11月5日（土）
- ・場 所 東御市中央公民館3階講堂
- ・参加者 9人
- ・内 容 ボッチャの基本と市内ボッチャ活動への支援

(10) ボッチャサポータースキルアップ講習会

- ・期 日 令和4年9月10日（土）
- ・場 所 東御市中央公園第二体育館
- ・参加者 18人
- ・内 容 ボッチャルールの再確認とスキルアップ

4. 福祉の森ふれあいフェスティバル

400,000円

- ・期 日 令和4年10月22日 午前9時30分～午後0時30分
- ・会 場 東御市総合福祉センター
- ・参加者 参加総数800人（協力団体 57団体 ボランティア 115人）
- ・内 容
 - ①福祉体験コーナーの設置（手話、点訳、車イス体験等）
 - ②障がい者施設の作品を展示・販売、設置
 - ③ボランティア団体の活動発表（展示・体験・舞台）
 - ④ふれあいミニコンサート・ふれあいコンサート
 - ⑤福祉協力校（市内小中学校）で取り組む福祉体験学習の紹介
 - ⑥被災地支援バザー

5. 福祉施設ボランティア担当者連絡会議

- ・期 日 令和4年5月19日（火）
- ・場 所 総合福祉センター1階ボランティアルーム2
- ・参加者 5名
- ・内 容 ボランティア受け入れ状況と課題の把握
※感染予防対策を講じて開催

6. ボランティアセンター運営委員会の開催

- ・期 日 令和4年7月12日（火）
- ・場 所 総合福祉センター1階ボランティアルーム2
- ・参加者 8人
- ・内 容 ボランティアセンターの現況と今後の課題について
※感染予防対策を講じて開催

V 在宅福祉サービス・支援事業

1. 高齢者支援

- (1) 介護予防事業の運営（市受託） 7,047,685 円

高齢者の閉じこもり・認知症・うつ予防等、要介護状態の予防を目的に、ミニデイサービス及び筋トレ事業を市から受託して取り組みました。新型コロナウイルスの感染状況に配慮し、利用時間を短縮して取り組みました。

介護予防事業	利用実人員	延利用者	実施数	一日平均
ミニデイサービス（火）～（金）	36 人	1,135 人	186 回	6.1 人
筋トレ教室（月）	17 人	386 人	45 回	8.6 人

- (2) こんにちは訪問事業（安否確認事業）（市受託） 5,944 円

市の利用決定を受けた介護サービスの提供等を受けていない安否確認が必要な一人暮らし高齢者宅に、福祉運営委員等の協力をいただき、定期的に野菜ジュースを届けて安否確認を行いました。

- ・1支部 利用者実人数 1 人
- ・訪問活動者実人数 2 人
- ・配布本数 104 本

- (3) 寝具洗濯乾燥サービス事業（市受託） 563,701 円

概ね 70 歳以上の高齢者の単身世帯と高齢者世帯等で、寝具類の衛生管理が困難な世帯を対象に、寝具類の洗濯乾燥サービスを実施しました。

- ・実施回数 2 回（6 月・11 月）
- ・利用実人数 65 人
- ・利用者数 延 97 人
- ・利用枚数 188 枚
- ・対象者 寝具の衛生管理が困難な方

- (4) 在宅介護者リフレッシュ事業（市受託） 212,005 円

在宅で要介護高齢者を介護している家族を対象に、心身のリフレッシュ（元気回復）を目的に、介護者相互の交流機会を提供しました。感染予防対策を講じての実施となりました。

- ・実施回数 3 回
- ・内 容 健康相談、介護技術講習、健康体操、介護者交流、元気回復等

実 施 日	場 所	参加者
令和 4 年 7 月 8 日（金）	佐久穂町「由井ブルーベリー園」 佐久市岩村田 レストラン「ブランカン」	6 人
令和 4 年 11 月 2 日（水）	高山村「雷滝」（裏見の滝） 須坂市「田中本家博物館」 松代温泉「松代荘」	5 人
令和 5 年 3 月 1 日（水）	こもろ布引いちご園 小諸市あぐりの湯こもろ（ストレッチ体操）	7 人

(5) 寝たきり高齢者希望の旅事業

203,678 円

日ごろの外出機会が十分ではない高齢者及びその家族に対する外出支援と参加者同士の交流を目的として、車いす等でも安心して参加できる旅行を実施しました。

- ・期 日 令和4年6月29日
- ・行 先 上松町 ねざめ亭（昼食・寝覚の床見学）
塩尻市 木曾くらしの工芸館（体験）
- ・参加者 高齢者13名＋家族介護者4名＋介助ボランティア9名＋職員2名 計28人

(6) 家族介護者サロン“太陽の会”交流会

介護者同士の交流の場を設けて、介護者の負担の軽減を図るため交流会を行いました。感染予防対策を講じての実施となりました。

- ・期 日 令和4年5月18日、9月14日、令和5年1月18日
- ・会 場 総合福祉センター ボランティアルーム
- ・参加者 延13人

2. 障がい者支援

(1) 重度障がい者希望の旅事業

960,705 円

重度障がい者を対象に、外出機会の確保を目的として、誰もが安心して参加できる旅行を実施しました。

- ・期 日 令和4年9月17日～18日（1泊2日）
- ・場 所 長野県下伊那郡阿智村 方面
- ・参加者 障がい（児）者7名＋家族介護者2名＋
介助ボランティア10名＋職員2名 計21人

(2) 視覚障がい者への音訳、点訳サービス支援

462,000 円

文字による情報入手が困難な視覚障がい者を対象に、市の広報誌や社協報等の音訳・点訳をボランティアの協力を得て実施しました。

利用者 8人

- ・音訳・・・市報、市報お知らせ版、社協報、他
- ・点訳・・・生涯学習カレンダー、選挙公報、社協報、他

VI 介護保険事業と障害福祉サービス

1. 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

（1）訪問介護・介護予防日常生活支援総合事業（訪問型独自サービス）

要介護又は要支援の認定を受けた方を対象に、訪問介護計画を作成し、ホームヘルパーを派遣して身体介護及び生活援助等のサービスを提供しました。

重度の利用者の入院・死亡や、自宅で介護保険のサービスを利用しながら生活される利用者も減る傾向にあり、利用者が減少しました。

○ホームヘルパー数 5人 ○利用総数 延89件

＜介護度別 延利用者数＞

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和4年度	3	32	13	19	11	0	11	89
割合	1	37	15	21	13	0	13	100
令和3年度	13	110	54	49	34	2	27	291

＜月別利用者数 要介護1～5＞ 利用実人員 12人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和4年度	11	10	12	8	9	4							54
令和3年度	10	10	11	12	12	13	18	13	13	14	14	12	146

＜月別利用者数 要支援1・2＞ 利用実人員 10人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和4年度	10	10	7	4	2	2							35
令和3年度	11	8	8	10	10	11	11	11	10	10	9	10	119

＜サービス内訳＞ 令和4年4月～9月

サービス名	予防介護		身体介護		身体・生活		生活援助		総合計	
	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間
令和4年度	123	64.5	511	300.5	74	121.5	68	54.5	776	541
月平均	20.5	10.7	85.1	50.0	12.3	20.2	11.3	9.0	129.3	90.1
令和3年度	432	436.5	930	571.5	267	358.5	183	250	1810	1616.5

（2）障がい福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）

障害支援区分認定を受けた方のうち、介護給付費支給決定を受けた方を対象に、居宅介護等計画を作成し、ホームヘルパーを派遣して身体介護、家事援助及び外出時介助等のサービスを提供しました。

	実利用者数	延利用者数	延利用回数	延提供時間数
令和4年度	8人	45人	340回	466時間
令和3年度	11人	106人	874回	1113.5時間
増減	-3人	-61人	-534回	-647.5時間

(3) 地域生活支援事業（移動支援事業）

障害支援度区分認定を受けた方のうち、社会活動等のための外出に係る支援が必要な方に対し、ホームヘルパーを派遣して外出に係る移動の支援等の必要なサービスを提供しました。

	実利用者数	延利用者数	延利用回数	延提供時間数
令和4年度	7人	20人	125回	147.5時間
令和3年度	7人	62人	360回	365時間
増減	0人	-42人	-235回	-217.5時間

(4) ほほえみサービス事業（自費サービス）

制度外のサービスを希望される方に対し、ホームヘルパーを派遣し希望されるサービスを提供しました。独居・老世帯の方の入院中の洗濯サービス等、制度では対応できないニーズへの対応を図りました。

	実人数	延利用回数	延利用者数	延提供時間	家事援助	通院介助	身体
令和4年度	0人	0回	0人	0時間	0時間	0回	0回
令和3年度	3人	42回	24人	45.5時間	45.5時間	0回	0回
増減	-3人	-42回	-24人	-45.5時間	-45.5時間	0回	0回

(5) 養育支援訪問事業（市委託）

保護者の事由等により養育が一時的に困難となり支援が必要だと判断された家庭に対し、家事支援等の提供を市から受託し、相談等はありませんでした。

(6) 訪問介護事業につきましては、令和4年9月末日をもって廃止しました。

<その他の活動>

- ・広報誌「ほほえみ」へのコラム掲載

2. 居宅介護支援事業

市から介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援事業の一部を受託し、要支援認定を受けられた方も、要介護認定を受けられた方も、各種のサービスなどを利用しながら自宅でその人らしい生活ができるよう、本人、家族等に寄り添い、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成しました。国の通達よりコロナ等の感染拡大予防のため、ケースによって担当者会議等も書面や電話などを利用し、関係機関との連携を図りました。利用者の訪問への不安も、電話での状況把握や玄関先で短時間の訪問など利用者に合わせて対応しました。

また、広域連合からの介護認定調査の受託や、特定事業所加算Ⅱ算定事業所であるため、地域包括支援センターからの対応困難ケースの受け入れにも積極的に取り組み、毎朝のミーティングを行う等ケースの情報の共有を行いました。また今年度は介護支援専門員実習生を1名受け入れました。（令和5年2月）研修についてはオンラインで取り組みました。

○ケアマネージャー人数 5人 ○利用総数 1,821件

<活動状況>

業 務	介護	介護予防 介護予防ケアマネジメント	計
ケアプラン作成総件数（給付管理件数）	1,722 件	99 件	1,821 件
モニタリング訪問件数	1,890 件	42 件	1,932 件
要介護認定調査（広域連合から）	33 件	0 件	33 件
担当者会議開催件数	136 件	10 件	146 件
アセスメント実施件数	136 件	10 件	146 件
事例検討実施件数	8 件	0 件	8 件
対応困難ケース受け入れ件数	6 件	0 件	6 件

<月別居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数>

		令和3年度実績	令和4年度実績	増減
延作成件数	介護	1,811 件	1,722 件	-89 件
	介護予防	123 件	99 件	-24 件
月平均	介護	150.9 件	143.5 件	-7.4 件
	介護予防	10.3 件	8.2 件	-2.1 件

<月別居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数>

○要介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和4年度	146	142	144	146	144	145	146	145	144	140	137	143	1,722
令和3年度	156	154	150	150	154	154	157	153	147	148	145	144	1,811

○要支援 介護予防支援・介護予防支援ケアマネジメント支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和4年度	6	6	6	7	8	9	9	9	9	10	10	10	99
令和3年度	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	123

<介護度別ケアプラン作成件数>

○要介護

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
件数	690	539	214	196	83	1,722
月平均	57.5	44.9	17.8	16.3	6.9	143.4

○要支援

介護度	支援1	支援2	計
件数	46	53	99
月平均	3.8	4.4	8.2

<研修実績>

月	研 修 内 容 (外部)
4 月	・ オンライン研修 福祉用具関連 何が変わる
5 月	・ 認知症サポーター養成講座研修 講座の進め方について ・ オンライン研修 これからの介護保険動向 ・ BCP 研修 事業継続計画を作る・使う・開示する ・ 認知症研修 父長谷川和夫から学んだ認知症ケア ・ 多職種連携会議 ・ ケアプラン研修 アウトカム評価で求められるケアプランの書き方
6 月	・ 地域包括ケア研修 ・ ケアマネネット 虐待・ハラスメント
7 月	・ 多職種連携会議 在宅における薬剤師の役割と多職種の実際 ・ オンライン研修 熱中症対策について ・ ケアマネネット
8 月	・ ケアマネネット 東御市ハザードマップの活用について 災害時避難行動要支援者登録申請の活用について
9 月	・ ケアマネネット 民生委員さんと意見交換
10 月	・ ケアマネネット ケアプランの思考について ・ 多職種連携会議 歯科との連携 ・ BCP 研修 義務化は BCP だけではない。研修・訓練も求められている 定期巡回・随時サービスの実践について
11 月	・ 多職種連携会議 訪問リハビリの役割 ・ 圏域介護保険事業者研修 障害福祉の実践から障害を抱える方を支える地域づくり ・ BCP 研修 策定中に生じた疑問を一気に解決 ・ 介護保険民間介護、福祉事業所連絡会 障害福祉サービスから介護保険の移行について ・ ケアプラン点検
12 月	・ 感染症研修 コロナ・インフル同時流行を見据えて ・ ケアマネネット ケアプラン点検の振り返り
1 月	・ ケアマネネット 人生会議から居宅介護支援専門員の役割と連携
2 月	・ ケアマネネット 予防プラン事例検討 ・ 多職種連携会議 医療と介護の切れ目ない連携を目指す ・ 虐待研修 高齢者虐待に関する研修
3 月	・ BCP 研修 ・ 認定調査印研修

<その他の活動>

- ・ 東御市民間事業所連絡協議会への参加
- ・ 広報誌「ほほえみ」へのコラム掲載
- ・ 認知症初期集中支援チーム会議への参加

VII その他の福祉活動支援

1. 長野県共同募金会東御市共同募金委員会事業

社会福祉法人長野県共同募金会の東御市共同募金委員会を組織し、協働して募金活動等に取り組みました。

(1) 赤い羽根イベント・募金活動

○街頭募金・イベント募金等の実施（原則、各日職員2人により実施）

実施日：場 所	
10月1日 道の駅 雷電くるみの里	10月2日 道の駅 雷電くるみの里
10月3日 ベイシア 東御店	10月4日 デリシア 東部店
10月6日 やおふく 東御店	10月10日 道の駅 雷電くるみの里
10月11日 デリシア 東部店	10月13日 しなの鉄道 田中駅
10月14日 ベイシア 東御店	10月16日 道の駅 雷電くるみの里
10月18日 やおふく 東御店	10月19日 しなの鉄道 田中駅
10月29日 道の駅 雷電くるみの里	10月8-9日 火のアートフェスティバル

○戸別募金・・・行政区ごと支部長へ依頼

○学校での赤い羽根募金の取り組み 市内小中学校6校へ依頼

○職域募金の依頼 東御市役所職員、信州うえだ農協職員、東御市社協職員等

○東御市振興公社 温泉施設へ募金箱設置の依頼

○市内大手スーパー店頭へ募金箱設置の依頼

○市内企業へ企業募金の依頼

○自動販売機募金 道の駅「雷電くるみの里」、湯楽里館、総合福祉センター

(2) 赤い羽根、歳末助け合い共同募金収納結果

◎令和4年度赤い羽根募金収納総額

6,155,843円

<募金別内訳>

募金の種類	金 額	内 訳
戸別募金	5,673,607	6,402戸
街頭募金	124,784	計19回実施
法人募金	100,000	17法人
学校募金	36,299	市内6校
職域募金	42,369	東御市、社協、JA信州うえだ東御支所
イベント募金	36,155	火のアートフェスティバル
個人募金	18,032	
その他	124,597	募金箱、繰越金、利子等
収納総額	6,155,843	

(3) 共同募金会からの配分事業

令和4年度の市社協の地域福祉事業へ配分実績 4,437,547 円

(令和3年度の収納額 6,193,547 円の実績から、東御市への配分金)

<事業別配分内訳>

事業	金額	事業	金額
高齢者	884,000	その他	2,599,547
障害児・者	230,000	合 計	4,437,547
児童・青少年	724,000		

(4) 災害見舞金

- ・令和4年度の見舞事案はありませんでした。

2. 日本赤十字社事業

(1) 赤十字奉仕団総会（新型コロナウイルス感染予防のため文書審議）

- ・期 日 令和4年4月14日（木）
- ・内 容 令和3年度東御市赤十字奉仕団事業報告及び決算報告について
令和4年度東御市赤十字奉仕団事業計画及び予算について

(2) 日赤活動資金募集会議

- ・期 日 令和4年4月20日（水）
- ・場 所 東御市中央公民館3階 講堂
- ・内 容 日赤活動資金募集に係る事務説明

(3) 日赤活動資金募集総額 ・支援者数 5,536 人 ・寄付者 37 人 3,962,950 円

(4) 健康生活支援講習会

- ・新型コロナウイルスの影響により中止

(5) 一日赤十字（炊き出し及び救急法講習会）

- ・新型コロナウイルスの影響により中止

(6) 日赤奉仕団視察研修会

- ・新型コロナウイルスの影響により中止

(7) 災害見舞

- ・住宅火災 0 件

3. 被災者義援金・海外救援金

(1) 平成30年7月豪雨災害（平成30年7月10日～令和4年6月30日）

平成30年からの累計 14 件 1,366,007 円

(2) ウクライナ人道危機救援金 (令和4年3月2日～受付中)

令和4年度	25件	1,152,520円
(令和3年度からの累計)	44件	1,591,324円

(3) 2023 トルコ・シリア地震救援金 (令和5年2月9日～受付中)

令和4年度	5件	201,234円
-------	----	----------

4. 社会福祉団体活動の支援

(1) 東御市福祉団長会議

- ・日 時 令和4年4月18日 午前10時00分～午前11時00分
- ・会 場 東御市総合福祉センター
- ・参加者 市内福祉団体(7団体)の会長 及び社協・行政関係者
- ・内 容 令和4年度の団体に関わる事業についての協議及び補助金に関する連絡等

(2) 福祉団体交流会 (ポッチャ)

39,645円

福祉団体会員相互の交流及び情報交換の場の提供及びユニバーサルスポーツを通じた「誰もが幸せを感じられるまちづくり」の推進を目指し、ポッチャ競技を通じた交流会を実施しました。

- ・日 時 令和4年6月6日 午前8時30分～正午
- ・会 場 東御市第2体育館
- ・参加者 福祉団体関係者、審判員、来賓等 88人
- ・内 容 体操、ポッチャ、表彰式ほか交流

(3) 福祉団体活動補助金

1,250,000円

○身体障害者福祉協会	320,000円
○手をつなぐ育成会	120,000円
○シニアクラブ連合会	100,000円
○遺族会	530,000円
○更生保護女性会	60,000円
○保護司会	120,000円
合 計	1,250,000円

(4) 障がい者福祉のつどい実行委員会

- ・第1回 9月5日 中央公民館 学習室5 「行事の内容について」
- ・第2回 12月5日 中央公民館 学習室5 「行事内容の振り返りについて」
- ・会 場 東御市総合福祉センター
- ・構成員 市内福祉団体(7団体)の会長